

### 地域の声から実現したTNR手術

2022年末、土佐市のある地域の方から「猫が増えて困っているが、捕獲も移送もできず対処が難しい」との相談が寄せられました。

現地の餌やりさんと協力し、何度も足を運びながら状況を把握し、TNR手術の実施へと話が進展。

そして2023年2月9日、にじのはしスペイククリニック高知分院様に土佐市へお越しいただき、合計25匹の不妊・去勢手術を実施しました。

地域の皆さんと協力しながら進めた今回の活動は、多くの猫たちの未来を守る大切な一歩となりました。

今後もこうした声に寄り添いながら、継続的な支援を行っていききたいと思います。



### 計画を超えた成果—25匹のTNR手術完了

当初の相談では23匹の猫を手術する予定でしたが、捕獲を進める中で依頼者も把握していなかった2匹が見つかり、最終的に25匹の不妊手術を実施しました。

予算をわずかに上回る形となりましたが、取りこぼしによる繁殖のリスクを考えれば、むしろこの2匹の手術は重要な投資。最善の結果を得るために、捕獲には10回以上足を運び、深夜まで粘った甲斐がありました。一度の手術で全頭の対応ができたことで、地域の猫の未来がより安定し、活動の意義を改めて実感しました。

今後も、必要な場所へ柔軟に対応しながら、確実な成果を積み重ねていきたいと思います。



### 最後の1匹と予期せぬ出会い

最後の1匹の捕獲は容易ではなく、時間帯や餌を工夫しながら、何度も現場へ足を運びました。粘り強く待っていると、夕方に捕獲器を仕掛けていたメンバーのもとへ、見知らぬ男性が声をかけてきました。

「ここにいた猫たちが急にいなくなったけど、何か知っている？」

実はこの男性、毎日夕方に餌をあげに来ていた男性餌やりさんでした。突然猫たちが姿を消したことで、誰かが捕獲して保健所へ連れて行ったのではないかと強い不安を抱えていたのです。メンバーがTNR手術のために一時的に捕獲し、手術後は元の場所へ戻すことを説明すると、男性は胸をなで下ろしました。

依頼者とこの餌やりさんは面識がなく、計画の詳細を知らなかったため、大きな驚きと心配につながったようです。餌やりの時間帯が異なれば、餌やり同士がお互いの存在を知らないこともあります。今回のような大規模な捕獲が行われる際には、関係者への情報共有がいかに大切かを改めて実感した出来事でした。

地域の猫を守るための活動には、こうした予期せぬ発見があるもの。今後も、地域の皆さんと協力しながらより円滑なTNRの実施を目指していきます。



にじのはしスペイククリニック高知分院の尾首先生、助手の三木さん、この度は大変お世話になりました。ありがとうございました。

### TNR後の見守りの重要性

無事に全頭の手術を終え、元の場所へリターンしましたが、本当に大切なのはその後の見守りです。術後の経過を確認し、猫たちが安全に過ごせるよう継続的なケアを行うことが、TNRの成功には欠かせません。

依頼者だけでなく、夕方に餌やりをしている男性にも見守りをお願いし、地域全体で猫たちを支える仕組みを整えました。しかし、ねこねこくらぶとしてもTNRに関わった責任があり、定期的に訪問し、自らの目で状況を確認していきたくと思っています。

地域の猫たちが安心して暮らせるよう、今後も丁寧に見守りを続けていきます。